

「いのち」の教育実践事例

☆舟形町の実践 (舟形町立舟形小学校)

生命の継承の
大切さに
関する教育

－ 自分らしく生きる －

思春期になり体の変化や性への関心で悩む児童に対して、他の人と比べるのではなく「自分らしく」生きていくことについて考える実践を紹介します。

○ 性の多様性について知る

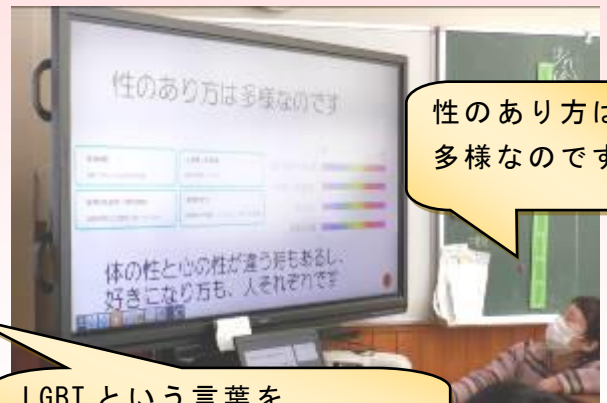
- ・小学校 6 年生を対象に、思春期の悩みについてアンケートを実施し、結果を基に心や体、性についての悩みを考えさせた。思春期の体と心の発達には、個人差があり、他の人と比べる必要がないことを伝えた。
- ・性の多様性についてイメージしやすいように、スライドを用いて説明する。性的指向や性自認については明確に区分されているものではなく、グラデーションがあることを気付かせる。

☆「性の多様性」については児童にとってあまり身近な問題ではないかもしれないが、心や体の発達について他人と違うということは大きな悩みにつながる。児童が「性の多様性」を通して「自分らしさ」を考える機会となった。

○ 性による差別について知り、みんなが自分らしく生きる方法を考える。

- ・トランスジェンダー・性同一性障害の方の手記を教師が紹介し、つらい思いをしたり、差別を受けていたりすることに気づかせた。
 - ・性による偏見や差別の事象を通じて、みんなが「自分らしく」生きるためにどうしたらよいかを考えた。
 - ・困ったときは、相談する大切さを伝えた。
- ☆自分で「自分らしさ」を考えるは難しかったが、友達と伝え合うことで自分の良さを発見することができて、とてもうれしそうだった。
- ☆「みんなが自分らしく生きていくためには？」という問いに対し、差別や否定をしない、認め合う、自分の良いところをたくさん見つける、自分を信じる、一人一人の性格を大切にする、好きなことをするなど様々な考えが出された。

・実践 ☆成果



性のあり方は
多様なのです。

LGBT という言葉を
聞いたことがありますか？



半数の児童が
知っていた

やさしいし
いつも笑顔！



ぼくの
自分らしさ
って何？

みんなが自分
らしく生きる
にはどうした
らいいのかな



差別しない・
自分らしさを
認め合うこ
と？

◇この実践後、学級ではお互いの良さを認めあったり、心や性の悩みなどを担任や養護教諭に話したりする児童がいた。また、この児童が入学する舟形中学校では、選べる制服が導入されている。今後は中学校とも連携した実践を行っていきたい。